

地方創生関連の交付金等の効果検証について

平成30年5月22日
長岡市地方創生推進会議

目次

I	長岡リジューベネーション～長岡若返り戦略～	3
II	地方創生推進交付金	4
1	中越文化・観光産業支援機構	5
2	歴史文化事業	7
3	地域観光事業	9
4	伝統文化資源事業	14
5	地域資源観光プロモーション事業	16
III	地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)	18
1	未来の起業家応援事業	19
2	若者提案プロジェクト支援事業	20

I 長岡リジュベネーション ～長岡若返り戦略～

I

若者自身が
参加、企画、実現し
魅力を生み出す
まちに

地方創生にあたり
大切にしたこと

II

未来の長岡を担う
子どもたちを育てる
質の高い教育環境に

III

長岡で頑張っている
産業を応援。
新たな起業や
産業の誘致を促進し
「働く場」を確保

※リジュベネーション(rejuvenation)
: 若返り、元気回復

Ⅱ 地方創生推進交付金

・事業名

中越文化・観光産業支援機構による歴史資源・行政視察資源を活かした広域観光振興

・概要

中越地域の近隣12市町村が連携し、「中越文化・観光産業支援機構」を立ち上げ、地域の豊富な文化資源の価値を、訪れる人それぞれの目的、テーマに応じた的確に伝えるコンテンツを整備するとともに、来訪者に文化的な刺激、充足感を提供することで、地域の新たな文化観光産業の振興及び雇用の確保につながる交流人口の拡大を図る。

・重要業績指標値

連携市町村(12市町村)への観光入込客数

	H26	H29目標値	目標(H32)
計画	26,412,549人	28,261,421	30,850,622
実績	26,412,549人	26,228,275人 (▲2,033,146人) 見込値	-

1 中越文化・観光産業支援機構

▶ 事業目的

中越地域の市町村及び関係団体が連携し、地域の豊富な文化・観光資源を生かし、地域の新たな観光産業の振興及び雇用の確保につながる交流人口の拡大を図ることを目的とする。

▶ 事業概要

中越地域の市町村、観光団体が連携して広域観光事業に取り組み、交流人口の増加を目指していくため、平成28年5月に「中越文化・観光産業支援機構」(※)を設立。

同機構では、広域観光連携事業として、連携市町村の文化・観光資源をつないだ広域周遊ツアーを企画、実施したほか、連携市町村の文化・観光資源のプロモーションを実施。

※中越文化・観光産業支援機構 構成団体

長岡市、三条市、柏崎市、小千谷市、十日町市、見附市、燕市、魚沼市、南魚沼市、弥彦村、出雲崎町、津南町及び各市町村観光協会

(事務局:(一社)長岡観光コンベンション協会、長岡市観光・交流部観光企画課)

1 中越文化・観光産業支援機構②

▶ 事業目的

長岡市及び周辺地域は、観光に資する文化・自然資源は豊富にあるが、観光誘客に必ずしも繋がっておらず、観光関連産業も、寺泊地域や一部の温泉地等に限定されている。このため、観光客を誘致する際、食事をする場所が無いが、若しくは極めて限定されている地域が少なくない。こうした状況に対応するため、東京で実績のあるビジネスコンサルタント会社及びその傘下のBBQ運営会社の参画を得て、初期投資が少なく事業性の見込みやすいBBQ事業を、文化資源豊富な与板地域でモデル的に実施し、地域事業者がそのノウハウを吸収することで、観光飲食産業の育成を図る。

▶ 事業概要

サッポロビール創業醸造家の中川清兵衛の出身地である、与板地域たちばな公園内にテント造のBBQビール園を約6か月(4月～10月)開設した。

平成29年度は、運営主体を専門事業者から与板地域の住民で構成する事業者へ移行した。



2 歴史文化事業①(地域の宝磨き上げ事業)

▶ 事業目的

天地人(直江兼継)、良寛、豪農、石川雲蝶、戊辰戦争(河井継之助等)をゆかりとした歴史文化資源を活用し、観光による外需から新たな産業化・雇用創出の好循環を実現し、人口減少に歯止めをかけます。

▶ 事業概要

①良寛(和島地域の宝磨き上げ事業)

- ・学習教材の作成
- ・はちすば通りのライトアップ

②豪農(和島・与板地域の宝磨き上げ事業)

- ・住雲園の活用・保存
- ・楽山苑の活用・保存

③天地人(栃尾・与板地域の宝磨き上げ事業)

- ・「上杉謙信公旗揚げの地」伝承、PR
- ・観光ガイドの養成



2 歴史文化事業②(只見町交流事業)

▶ 事業目的

平成30年に長岡市が長岡開府400年、只見町が戊辰戦争150周年を迎えるにあたり、河井継之助を通じて両市町の周年事業の機運醸成を図り、交流人口の拡大及び郷土の歴史と誇りの再認識を促す。

▶ 事業概要

長岡市及び只見町の河井継之助の足跡を巡るウォーキング事業に両市町民が相互参加する。

①長岡市:八丁沖ウォーク(平成30年10月13日(土)開催予定)

戊辰戦争時に河井継之助率いる長岡藩が、長岡城を奪還する際に舞台となった沼地である八丁沖を、継之助や長岡藩兵などをしのびながらウォーキングするイベント。平成29年度は106名が参加。

②只見町:継之助ウォーク(平成30年9月上旬開催予定)

河井継之助の終焉の地である只見町で、継之助が八十里で歩んだコースや、長岡藩主牧野公が宿泊した地などウォーキングするイベント。平成29年度は29名が参加。



3 地域観光事業①(米百俵まつり事業)

▶ 事業目的

秋の収穫を祝い、長岡の教育の原点「米百俵の精神」を醸成し、次世代を担う子どもたちに、故郷「長岡」の素晴らしさを伝え、「自信」と「誇り」を育む場として開催する。

▶ 事業概要

長岡が誇る「米百俵の精神」をテーマに、秋の収穫祭と併せて誕生したお祭り。越後長岡時代行列では、総勢約500名が行進・パフォーマンスを行います。このほか米百俵リレー、神輿渡御、フリーマーケット、飲食・物産コーナーやステージイベントなど盛りだくさん。昔懐かしい雰囲気を感じながら、長岡の歴史や文化を楽しく学ぶことができるイベント。



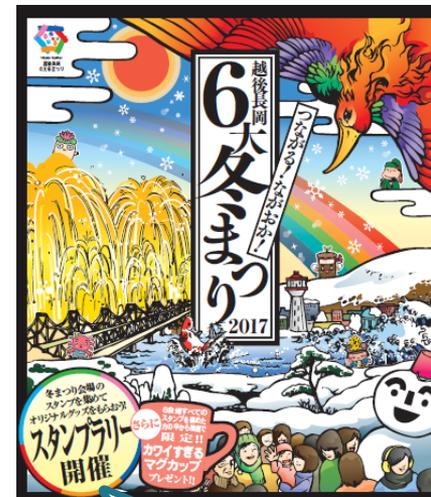
3 地域観光事業②(雪まつり)

▶ 事業目的

長岡市内で開催される6つの冬まつりを「つながる！越後長岡6大冬まつり」として一体的に広報し、事業を連携させて実施することで、長岡市全体の冬の誘客を促進し、各地域イベントの特色の周知と魅力アップを図る。



つながる! ながおか!
越後長岡 6大冬まつり



スタンプラリー開催!

▶ 事業概要

- 1 長岡雪しか祭り事業
- 2 越路スノーフェスティバル事業
- 3 古志の火まつり事業
- 4 おぐに雪まつり事業
- 5 とちお遊雪まつり事業
- 6 雪洞火ぼたる祭事業



3 地域観光事業③(地域の宝磨き上げ事業)

▶ 事業目的

自然(もみじ)、観光施設(ダム、交流拠点等)、イベント(花火、雪まつり等)を活用した地域観光資源を活用し、観光による外需から新たな産業化・雇用創出の好循環を実現し、人口減少に歯止めをかけます。

▶ 事業概要

①紅葉(越路地域の宝磨き上げ事業)

- ・もみじ園でのイベント開催

②トレイルランニング(小国地域の宝磨き上げ事業)

- ・交流会の運営、おもてなし等
- ・地域PRエイドの設置



3 地域観光事業④(土木遺産)

▶ 事業目的

山古志地域の小松倉集落と魚沼市を結ぶ、日本最長の手掘りトンネル「中山隧道」先人の努力を再認識し、後世に伝えることで、住民が“地域の宝”に自信と誇りを持つことで、地域の活性化につなげる。

▶ 事業概要

住民と協議しながら、隧道の活用と整備を行う。
通行止め区間となってる807mの通路整備

□ 中山隧道の概要

全長877m。住民がつるはしを手で昭和8年(1933年)から16年かけて掘り抜いた。新潟県中越地震にも耐えたが、長年空気に触れていたため、風化による壁面剥落や天井崩落が発生。

- ◆平成18年度、土木学会選奨土木遺産に認定
- ◆平成27年4月に通行止め措置
- ◆平成27年度、安全対策としてアーチ型通路を設置
- ◆平成28年春に70m間が通行可能となった
- ◆平成29・30年度

活用に向けた保存方法の調査・検討に着手



3 地域観光事業⑤(ながおか花火館(仮称))

▶ 事業目的

道の駅「ながおか花火館(仮称)」整備事業

- ・市民の誇りであり、重要な観光資源でもある長岡花火を核に多様な地域資源を
通年PRする情報発信拠点施設を整備する。
- ・施設の整備にあたっては、道の駅としての登録を目指す。

▶ 事業概要

(導入機能・施設)

- ・地域資源の情報発信機能
- ・物販、飲食などの地域振興・交流機能
- ・トイレ等休憩機能、道路・観光等の情報提供機能
- ・道路利用者の災害時一時避難などの防災機能

(整備予定地)

- ・喜多町地内(国道8号沿い)

(全体敷地面積)

約29,400㎡

※2020年7月の東京オリンピック・パラリンピックの
開幕前のオープンを目指す。

【施設整備イメージ】



(出典:国土交通省ホームページ)

4 伝統文化資源事業①(地域の宝磨き上げ事業)

▶ 事業目的

錦鯉、牛の角突き、大凧合戦などの伝統文化資源を活用し、観光による外需から新たな産業化・雇用創出の好循環を実現し、人口減少に歯止めをかけます。

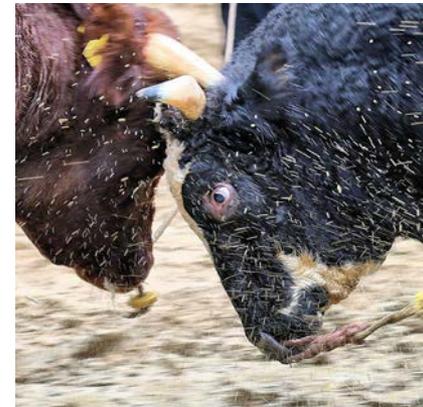
▶ 事業概要

① 錦鯉、牛の角突き(山古志地域の宝磨き上げ事業)

- ・交流ツアーの開催
- ・首都圏大学生山の暮らし体験学校の実施
- ・ホームページでの情報発信

② 大凧合戦(中之島地域の宝磨き上げ事業)

- ・大凧の作成・展示
- ・中之島中学校の大凧体験
- ・大凧合戦会場への市民観覧席の設置



4 伝統文化資源事業②(錦鯉)

▶ 事業目的

・「錦鯉発祥の地」、市の魚「錦鯉」を世界が認めるブランドに確立させ、錦鯉産業を切り口とした「中山間地域型産業振興モデル」を創造する。また、小千谷市と連携し、オリジナリティの確立とブランド価値の向上のための施策を展開する。

▶ 事業概要

1 ブランド確立事業

- ・日本農業遺産認定シンポジウムの開催。
- ・農業遺産&「県の魚」制定記念事業を開催。

2 生産振興・文化継承事業

- ・錦鯉品評会の拡充・誘致による顧客への長岡産アピール。
- ・錦鯉発祥の地を国内外へ発信。
- ・継続的営農体制の確立と地域活力の再生に向けた取り組みに支援等。



シンポジウムの開催



品評会での産地PR

4 地域資源観光プロモーション事業①

①長岡の魅力発信事業

▶ 事業目的

長岡花火、河井継之助など、長岡市の有する特徴的な地域資源や歴史人物、さらには本市が有する豊かな歴史・文化などを市内外に発信し、広くプロモーションを図るため、コンテンツを制作し、上映・放映するもの

▶ 事業概要

・長岡花火映像コンテンツの制作及び上映

「長岡市」と「長岡花火」を広くPRするため、現時点で最先端技術の「8K映像」により、長岡花火の映像コンテンツを制作し、首都圏などの大型ビジョンで上映

【上映場所】 東京都、三重県、福岡県、福井県

【上映時期】 H29年11月・H30年3月

・長岡の歴史PR番組の制作及び放送

長岡が誇る偉人・河井継之助に着眼した広報番組を制作し、長岡の歴史を広くPRするため、市内外に放映

【放送エリア】新潟県内(新潟テレビ21局エリア)

【放送日】H30年1月13日



4 地域資源観光プロモーション事業②

②シティプロモーション推進事業

▶ 事業目的

- ・長岡市の重点資源である「長岡花火、錦鯉、食、火焰土器」を活用し、広くPRすることで、長岡の認知度とイメージ向上を目指す。

な！ナガオカ

▶ 事業概要

- ・シティプロモーションWEB「な！ナガオカ」運営
20代～40代をターゲットとした長岡の情報の記事化・蓄積とSNSを活用した情報の発信
- ・長岡の酒の国内外へのPR
食関係者と酒蔵を対象としたマッチングイベント(首都圏1回)
「長岡の日本酒」台湾市場実態調査
台湾クリエイターによる酒蔵訪問及び台湾国内発信
- ・「持てる・触れる火焰土器」コーナーの設置(首都圏2回)
平成29年10月13日～15日 羽田空港
平成29年12月16日～平成30年2月25日 國學院大學博物館
- ・火焰土器3Dデータオープンソース化についての検討

「錦鯉」で世界とつながる！若きリーダー3兄弟が描く、地域復興の未来図



【WEB な！ナガオカ】



【國學院での展示】

Ⅲ 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

・概要

長岡市内3大学1高専15専門学校、商工会議所、金融機関、行政機関等で構成する「ながおか・若者・しごと機構」を核として、将来を担う「若者」自らが、長岡で暮らし、働きたくなる事業を実施するもの。

首都圏などで学んだ若者のUターン、市内の大学等で学んだ若者の卒業後の地元定着、若者の起業による雇用の創出、創業と地域社会を結ぶハブ人材の育成、多様な出会いの場の創出など、横断的に政策を実施し、10～39歳の転出超過を抑制し、人口減少に歯止めをかける。

・重要業績指標値

指標	H28	目標(H29)	H29実績
支援による年間起業・創業件数	0件	20件	36件
起業に結びついた若者プロジェクト数	2件	6件	0件
10～39歳の転出超過の抑制	▲565人	▲433人	▲298人

1 未来の起業家応援事業

▶ 事業目的

長岡市内に新たな進出を伴う起業の促進及び起業後の事業の定着を支援し、これらによる地域経済の活性化を図る

▶ 事業概要

新たに起業する者又は起業後5年未満の者であり、将来性・地域への貢献・将来の雇用増加等が見込める事業に対し、補助対象経費の2/3を補助する。

①スタートアップ支援枠

新たに起業する者を対象として最大150万円を補助
※通常は50万円を上限とし、39歳以下、地域資源の活用といった条件を満たすことで上限アップ

②成長発展枠

公的機関による起業に係る補助金を受けた、起業後5年未満の者を対象に最大1,000万円を補助

※平成30年度はU・Iターンに特化した制度として予算化
(上限50万円)



2 若者提案プロジェクト支援事業

▶ 事業目的

「若者の夢がかなうまち長岡」を目指し、ながおか・若者・しごと機構を事業主体として、将来を担う「若者」のアイデアを実現するための育成環境を整えながら、長岡で暮らし、働きたくなる事業実現を支援する。

▶ 事業概要

- ・頑張る長岡の若手経営者や学生が毎回約30名参加し、議論をして実施する「ながおか若者会議」のプロジェクト実現への支援。イベント等の開催を通して視野を広げ、企画力や実行力を身につけた若者たちが、さらに創業プランを提案し、実現化に向けて活動できるようにサポート体制を整える。
- ・小学生から30代までの若者にまちの魅力や仕事創出のアイデアを募る「ながおか仕事創造アイデア・コンテスト」を開催。寄せられたアイデアの審査表彰はもとより、ながおか・若者・しごと機構がその実現化をサポートする。



▲ながおか若者会議



▲とちお夜のランプ祭